

補助事業番号 20-1-145
補助事業名 平成20年度 国際Dシネマ映画祭開催 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭は、映画制作の第3革命と期待されるデジタルシネマをテーマにした国際映画祭を世界に先駆けて実施するものである。世界各地から多くの作品を募集し、ノミネートされた作品を上映して、審査によって優秀な作品を表彰する。これにより、若い才能を発掘し、また、地域の住民がハイレベル且つ最先端の映像文化に触れる機会と制作活動に参加できる条件を提供し、活力ある地域文化の創造と21世紀の映像文化の健全な育成発展を図り、もって公益の増進に寄与することを目的とする。また、地元川口市のオートレース事業を映画祭来場者に広くPRし、レジャースポーツとしての理解の増進を図り、オートレース事業の一層の発展への寄与も目指す。

(2) 実施内容

【会 期】2008年7月19日（土）～27日（日）

【開 催 地】SKIPシティ（埼玉県川口市上青木3-12-63）

【実施内容】

- ア. 世界各国からデジタル制作の映画を募集し、その中からノミネート作品を選び上映する（長編国際コンペティション／短編国内コンペティション）。ノミネート作品は、コンペティションにかけられ、優秀な作品には、賞を授与した。
- イ. オープニング上映作品として、話題のデジタル映画の最新作（シネマ歌舞伎『人情噺文七元結』）をプレミアム上映した。
- ウ. 招待作品として、ODSの新しいチャレンジであるライブスパイア（ミュージカル舞台のデジタル映画化）『メトロに乗って』『FROGS』の2作品を上映した。
- エ. 特集上映として、カメラ・クレヨン『親子で楽しむ吹き替えシネマ』を上映した。
- オ. 5周年特別企画として、クリエイターズ・ミーティング『若手クリエイターのはじめの一步』を開催し、ベルリン映画祭新人監督賞受賞の熊坂監督が当映画祭でグランプリを受賞した作品他を再映した。
- カ. デジタルシネマを中心とするDコンテンツマーケットを開催した。
- キ. 地域との賑わいを創出するための関連市民イベントを開催した。

【成果】

- ・ 長編コンペティション部門応募作品数
693作品（目標 380作品／前回 433作品）
- ・ 短編コンペティション部門応募作品数
300作品（目標 290作品／前回 328作品）
- ・ 総観客数 5,921名（目標 6,000名／前回 6,548名）

- ・ 総来場者数 29,621名（目標 32,000名／前回34,892名）
- ・ 応募国数 75の国と地域（前回 69の国と地域）

2. 予想される事業実施効果

総観客数は、連日の猛暑、雷雨や市内の他のビッグイベントとの競合などの悪条件にもかかわらず、目標値6,000名をほぼ達成し、総設定席数10,939席に対する入場率は54.1%と他の国際映画祭との比較でも最優位と評価できる数字を残すことができた。この結果、映画ファンや地元住民が良質な映画に触れる機会を作ることができ、またアメリカ、エストニア、スペイン、フランス、ヨルダン、レバノン、ドイツ、トルコ、中国 他から映画関係のゲストを招聘して、観客、映画関係者等との国際交流の場を提供することができた。これらを総合した成果として、映画文化の健全な育成と発展を促すことに大きく寄与できた。なお、当映画祭出身（一昨年の当映画祭短編部門でグランプリ）の熊坂出監督が、今年度のベルリン映画祭で新人監督賞を受賞したことも、前4回の実績の蓄積として特筆に値する成果である。

3. 本事業により作成した印刷物

開催告知チラシ	B5
開催告知ガイド	B3
開催告知ポスター	B1
開催告知ポスター	B2
開催告知ポスター	B3
開催告知ポスター	A4
公式プログラム（一般用）	
Dコンテンツマーケット公式プログラム	

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会
（サイタマエイゾウボランティアノカイ）

住所：333-0845

川口市上青木西1-20-3 産業文化会館206

代表者名：理事長 児玉 洋介（コダマ ヒロスケ）

担当部署：本部

担当者名：理事兼事務局長 田中 一成（タナカ カズナリ）

電話番号：048-259-3421

F A X：048-253-1305

E-mail：eizov@bf7.so-net.ne.jp

U R L：<http://www.eizov.com/index.php>
<http://www.skipcity-dcf.jp/>